

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

学校だより



令和3年度第18号（令和4年1月28日発行）

今年度も残り2ヵ月となりました。本校では、子供たちが一年間のまとめの学習に取り組んでいます。また、進級や進学など次のステップに向けた準備も進めていますが、これからの2ヵ月間は、一年の中でも先が見えにくい時期です。特に、4月から大きく生活環境が変わる小学部6年生や中学部3年生にとって、4月からの新しい生活への希望や期待はもちろんのこと、もしかしたらそれ以上に不安や心配を感じているかもしれません。年度が変わるこの時期は子供だけではなく大人も落ち着きません。周りの人に不安な気持ちを話したり相談したりすることで、気持ちが軽くなったり解決したりすることもありますので、一人で悩まず、ぜひ周りの人に話をしてみましょう。

さて、成人式の三連休以降感染者が再び拡大し、静岡県の感染者数が1000人を超える日もあります。学校や園など子供たちの感染も増えており、比較的軽度や無症状が多いとも言われていますが、今回の第6波のピークがどこなのかはわかりません。そのような中、27日には静岡県もまん延防止等重点措置の適用となりました。感染者数がどこまで私たちの行動の目安になるのかわかりませんが、この感染の波が長く続かないことを祈るばかりです。伝播力が強いオミクロン株の感染の広がりを恐れながらも、いつどこで感染してもおかしくない状況にあることを一人一人が認識して、感染症対策をしましょう。また、感染した方や濃厚接触者への誹謗中傷、偏見などは変わらずあるようです。大変なときこそ私たち一人一人が正しい言動を心がけることも大事だと思います。

2月3日は「節分」、4日は「立春」です。

節分は古くからの日本の伝統行事の一つです。豆まきで邪気を追い払い、恵方巻を食べることが知られていますが、その言い伝えや風習は地域や家庭によってさまざまです。恵方巻は、福を巻き込んだ太巻きを、恵方（今年は北北西）を向いて丸かじりする関西地方発祥の風習です。



みなさんのところに、たくさんの福が訪れ、よい春が迎えられるように…。



校長 松本 仁美